

令和 7 年度予算案について

(R07.02.07 記者発表)

令和 7 年度 当初予算がまとまりましたので、その概要を申し上げます。

市政の舵取りを担わせていただき、本年 3 年目を迎え、令和 5 年度の政策予算編成から、3 度目の予算編成となります。



9 万 8 千市民の皆さまには、安全安心な暮らしと、活気あふれるまちを実感していただけるような、政策の実現に取り組んでいるところでございます。

令和 7 年度予算編成に当たっては、「第 7 期総合計画」及び「第 2 期財政標準化計画」を着実に推進するとともに、人口増加が続く、持続可能な千歳の未来に向けて、直面する課題の解決に積極的取り組み、公約に掲げた政策を具現化するため、優先課題推進枠として予算の重点化を図り、取りま

とめを行ったものであります。

私は公約の中で、市民の皆様に「安心感」「安定感」そして「将来への希望」を感じていただくため、特に「医療・介護・福祉の充実とネットワークの強化」「子育て支援の充実」をより一層進めることをお約束しております。

ラピダス社の工場立地の表明以降、美々ワールドの整備や新たな工業団地の造成等、企業誘致などの産業分野が大きく動き出している中で、特に「福祉や子育て支援」をより一層進められるよう、また、「教育」、「環境」、「防災」、「農業」、「観光」、「スポーツ」、「道路などのインフラ整備」などの様々な分野においても充実させ、

すべての分野において、次世代へつなげ、大きく発展を遂げられるような施策を、今回の予算でまとめあげ、令和7年度当初予算を「次世代へつなげる“発展”予算」と名付け、新規事業として40事業を計上し、編成したところであります。

その結果、新年度の予算であります、一般会計では、総額 5 9 5 億 1 , 9 1 6 万 3 千円、これは前年度と比べ、6 8 億 4 , 3 1 6 万 3 千円、1 3 . 0 % の増であり、過去最高の予算額となり、

これに、新たに新設される土地区画整理事業特別会計を含む 7 特別会計と公営企業会計を加えた全会計の予算総額では、1 , 0 0 2 億 5 , 9 2 8 万 2 千円、前年度と比べ、1 2 5 億 8 , 8 5 4 万 6 千円、1 4 . 4 % の増、全会計の総合計でも、過去最高の規模として編成したところであります。

その中でも、予算の重点化を図った「優先課題推進枠」には、1 点目として、「安全安心、人を育むまちづくりを推進する事業」には、「福祉や子育て支援」、「教育」、「環境」、「防災」などの分野から 1 8 事業を、また、2 点目として、「快

適で、活気あふれるまちづくりに関する事業」には、「企業誘致や観光などの産業振興」、「道路などのインフラ整備」、「公共交通やコミセン整備などの住環境」などの分野から 11 事業を掲げております。

この優先課題推進枠のある事業のうち、公約にかかる事業としては 24 事業でございます。

特徴的な新規事業や新たな取り組みを何点か申し上げますと、

1 安全安心、人を育むまちづくりを推進する事業からは、

まず、「公用車次世代自動車推進等業務経費」であります
が、公用車運用の効率化を目的としたシステムを導入するほか、順次、公用車を次世代自動車に転換します。

令和 7 年度は車両 11 台の更新等を予定しております。

次に、「公共施設等脱炭素化推進事業費」であります。

公共施設の脱炭素化を推進するため、太陽光発電設備を計画的に設置します。令和7年度は、千歳第二小学校、みどり台小学校、勇舞中学校、子育て総合支援センターに設置します。

次に、「(仮称)大和地区コミュニティセンター整備事業費」であります。自主的なコミュニティ活動のための拠点施設及び災害時の指定避難所としての機能を有する「(仮称)大和地区コミュニティセンター」の整備に向け、実施設計を行います。

次に、「公開型・統合型GIS整備事業費」であります。市が保有する地理空間情報(ハザードマップなど)を広く一般に公開し、業務の効率化や市民サービスの向上を図るとともに、統合型GISと連動したクラウド型被災者支援システム

を導入します。

次に、「重層的支援体制整備事業費」ではありますが、介護、障害、子ども、生活困窮の各分野での相談支援体制では対応が難しい、複合化、複雑化した支援ニーズに対応するため、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施し、包括的な支援体制として「重層的支援体制」を構築します。

次に、「子ども医療費助成事業費」ではありますが、所得制限を撤廃し、高校生世代までの医療費を、原則無料化します。

次に、「医療的ケア児支援事業費」ではありますが、医療的ケアが必要な子どもやその家族が安心して地域で暮らすための支援として、新たに外出先などに訪問看護を提供し、医療的ケアを実施します。

次に、「ヤングケアラー支援体制強化事業費」であります
が、新規事業であります。ヤングケアラーとその支援につ
いての理解促進を図るため、関係機関を対象とした研修会を
実施します。

次に、「保育士等確保支援事業費」であります。
市内の保育従事者数の増加を図るため、子育て支援員を新
たに雇用するために必要な費用を、保育所等に補助するとと
もに、子育て支援員となるために必要な研修を実施します。

次に、「こども誰でも通園制度実施支援事業費」でありま
すが、

未就園の0歳6か月から満3歳未満のこどもを、月一定期
間の利用枠の中で、保護者の就労要件等に関わらず預かる
「こども誰でも通園制度」の先行実施にあたり、本制度を実
施する市内私立教育・保育施設等に制度運営費を補助します。

次に、「有害鳥獣等駆除事業費」及び「クマ防除経費」でありますが、

シカの食害被害やクマの出没を未然に防ぐため、新たにシカやクマを追い払う対策機器等の購入や、駆除にかかる補助金や報酬額を増額します。

次に、「消防車両等更新事業費」でありますが、
救助工作車や高規格救急自動車を消防車両等整備計画に基づき更新整備します。

次に、「生徒指導事業費」でありますが、
不登校児童生徒が増加しているなか、不登校の未然防止や教室に登校することが困難な児童生徒の学習保障などの充実化を図るため、「校内教育支援センター」に専属の支援員を6名配置します。

次に、「新学校給食センター整備事業費」であります、
現在の学校給食センターが抱える課題を解消し、より安全・安心で多様な献立に対応した新たな学校給食センターの整備を行うため、「千歳市新学校給食センター整備基本計画」に基づき、事業者の募集に向けて、要求水準書等を策定します。

次に、「高齢者補聴器購入費等助成事業費」であります、
補聴器の利用を促進するため、満65歳以上の身体障害者手帳の交付の対象とならない中等度難聴の高齢者に対し、補聴器の購入費用の一部を助成します。

2の「快適で、活気あふれるまちづくりに関する事業」からは、

まず、「2026(ニ―ゼロニ―ロク)ちとせ空港開港100年記念事業費」であります、

令和8年に空港開港100年を迎えるにあたり、引き続き、記念動画や学習まんが等の作成を進めるとともに、実行委員会の新たな取り組みとして、新たに、まち全体で祝賀することを目的としたイベントの実施など、さまざまな記念事業を実施します。

次に、「市道整備事業費」であります、

市が管理している幹線・補助幹線・郊外・生活道路のうち、ひび割れや凸凹が発生している路線について、改良や修繕等の工事を実施し、地域住民の利便性の向上や生活環境の改善を図ります。

次に、「新土地利用調整業務経費」でありますが、

次世代半導体製造工場の立地を契機としたまちの発展に伴い、水需要の増加が想定されることから、水を確保するため、河川からの取水可能性等について検討を行います。

次に、地方大学、地域産業創生事業費でありますが、

公立千歳科学技術大学が北海道大学と連携して、実際の半導体製造工程が実習可能な施設の整備、半導体教育プログラムの共有、企業共同研究に取り組み、人材育成等を一体的に推進するための整備費や研究費の一部を負担します。

次に、(仮称) 柏台地区工業団地開発事業費でありますが、

次世代半導体製造工場等の立地により工業用地の不足が見込まれることから、柏台地区において工業団地を整備するための特別会計を設置し、造成工事やインフラ整備等を進めます。

令和 7 年度においては、都市計画決定手続きに必要な基本設計や現況測量、地質調査等を実施します。

この当初予算案につきましては、3 月 3 日に開会予定の「第 1 回 市議会定例会」に提案する予定であります。

私からは以上になります。